

令和3年度第1回稲敷市立学校二学期制検討委員会会議録

開 催 日 時 令和3年7月8日（木）午後6時55分開会

開 催 場 所 稲敷市役所庁舎 3階 322会議室

出 席 委 員	委 員 長	山 本 照 夫
	副 委 員 長	黒 田 正 紀
	委 員	油 原 一 郎
	委 員	市 川 泰 治
	委 員	埜 口 一 浩
	委 員	星 夏 樹
	委 員	木 村 寿 親
	委 員	田 中 弘 勝
	委 員	根 本 千 剛
	委 員	小 松 原 剛 久
	委 員	松 田 治 久
	委 員	板 橋 涉 章
	委 員	根 本 貴 章
	委 員	若 林 克 治

委員以外の出席者

教 育 政 策 課	吉 田 元 久
教 育 政 策 課	川 崎 忠 博
教 育 政 策 課	北 山 博 之
指 導 室	雑 賀 大

次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 委員長あいさつ

4 議 事

- (1) 二学期制検討委員会の設置目的について
- (2) 二学期制の概要について
- (3) 近隣市町村の動向について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) 質疑・意見交換

5 閉 会

【協 議 経 過】

開 会

吉田課長補佐

定刻前ではございますが、皆様お揃いのようなので会議を開催いたします。本日はお忙しい中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。これより、第1回稲敷市立学校二学期制検討委員会を開催させていただきます。本日司会進行を務めさせていただきます、教育政策課吉田と申します。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、委嘱状の交付を行います。

— 委嘱状交付 —

続きまして、委員長であります山本教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

山本教育長

— 教育長挨拶 —

二学期制検討委員会会議を通して、委員の皆様方からご意見を頂き、児童生徒の学習環境並びに教職員の職場環境を見直す機会を設けることで、子ども達にとってより良い学習の場、さらには成長の場を提供できればと考えております。

吉田課長補佐

ありがとうございました。本日は今年度初めての委員会の開催でございますので、委員の皆様からも自己紹介を兼ねまして一言ずついただきたいと思っております。

— 自己紹介 —

皆様ありがとうございました。続きまして、事務局を紹介させていただきます。

— 事務局紹介 —

それでは、さっそく議事の方に入らせていただきます。

議事の進行は山本委員長にお願いいたします。

議題 1， 二学期制検討委員会の設置目的について

山本委員長

それでは、議事進行を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

議題 1， 二学期制検討委員会の設置目的について、事務局より説明を求めます。

吉田補佐

稲敷市立学校二学期制検討委員会設置要綱を基に、二学期制検討委員会の設置目的の説明。

山本委員長

設置目的について何かご質問等ございますか。

—質問なし—

それでは、続きまして議題2に移らせていただきたいと思います。

議題2，二学期制の概要について

山本委員長

二学期制の概要について、事務局ご説明願をお願いします。

雑賀指導主事

資料、「二学期制の概要について」を基に説明。

山本委員長

只今、ご説明させていただきました、「二学期制の概要について」ですが、これに関しまして、ご意見等ございますでしょうか。

油原委員

説明ではメリットばかりで説得力が乏しい。二学期制にはデメリットがあったり三学期制にもメリットがあるのでは。牛久市はだいぶ前から二学期制を実施しておりますので、転勤などで二学期制を経験している先生がいらっしゃるのではないですか。

メリットだけでは説得力に乏しいので、三学期制のメリットも含めて、両方比較しないと会議にならないと考えている。その辺のところをなんで出さないのかを、会議の流れとしてなぜ出せないのかを説明してほしい。もしくは、もうやる方向だから分かり易くしました。ということであれば、それを説明していただきたいと思います。デメリットがないことが非常に気になります。

山本委員長

この意見になにかございませんでしょうか。

黒田副委員長

三学期制のメリットにつきましては、これまで日本ではずっと、三学期制でやってきまして、日本の季節や気候風土に合っているとされておりまして。

長期休業日が、たとえば一学期が終わり、夏休み、二学期が終わり冬休み、三学期が終わると春休みというサイクルがあるので、子供たちとしてはメリハリがあり生活のリズムがとりやすい、長期休暇が終わり、よし、新しい学期に取り組むぞというような、メリットがあるといわれております。

稲敷市では実際にはやっていないので、子供たちの生の声は聞くことができません。

油原委員

実際に二学期制を経験されている方はいらっしゃいませんか。

山本委員長

田中委員お願いします。

田中委員

三学期制のメリットとして、区切りがはっきりしている。長期休業が入ってその前に学期が終わり休んで次の学期新たなスタートだと。その気持ちの切り替えができることが、三学期制の良さだと考えております。あと、もう一つは、保護者への評価の回数が多い分、その学期の状況を保護者もつかみやすいと思うし、学習の状況なども通知表のたびに考えられ、児童に対し「がんばれよ」とか「しっかりやれよ」などの励ましなども、通知表が多い分多くできると考えられます。それにより子供たちも方向転換しやすいと思います。

その辺は、いまの説明の中でも評価の回数が少なくなる分は、面談をすることにより対応するとされております。

私が二学期制の一番のデメリットだと考えたところは、前期が終わると、すぐに後期が始まりますので、区切りやけじめが付けづらいといったところかと考えております。実際にはどの程度、子供たちに悪影響かはわかりません。私はそんなに影響はなかったのかなと感じております。あとは、三学期制は日本の風土に合っているという話もありますが、私もそのとおりであると思います。

現状として、三学期制で、每学期テストをやりながら評価をしてという教員の負担は、かなりなもので教員の負担は子供たちと接する時間にも影響をあたえます。昔に比べると教員の忙しさと事務負担は年々増加しています。二学期制のほうが子供たちと接する時間は増やせると考えております。

油原委員

大変よくわかりました。

そこが、私はこの会議の趣旨だと考えております。先ほどの資料ではメリットが記載されているだけで、結局は学校の先生にゆとりを持たせてあげて、子供たちと接する時間を増やしてあげたいと、それが大事なことだと。しかし、なぜそこが資料に書いてないのかなと。カッコいいことばかり書いて、一番肝心なところを、ごまかしているのではないかと。それを書いてほしいな、という思いで質問させていただきました。

山本委員長

よろしいでしょうか。何かご質問ご意見等ございますか。

現在、稲敷市の教職員を見ていますと、長時間の時間外勤務が常態化しております。ゆとりがない状況では、子供たちに笑顔で接することも難しくなります。

現状は、そういうことになっておりますので、教職員にゆとりを持たせてあげたいと考えております。最終的には、教職員がゆとりを得ることにより、子供たちにより良い授業を展開し、子供たちに還元させてあげたいと考えております。

ほかに何かご質問等ございますか。

星委員

内容の説明を聞いていまして、時間のゆとり確保が目的なんだと、変化1, 3を聞いていて思いました。変化2に関しては、個人的にはメリットと感じませんでした。せっかくこのような委員会を設置するのであれば、マスコミ等でも教職員の働き方改革ということも浸透しているわけですから、そういったところは腹を割ってこの委員会では書いていただきたいと思いました。

中学校では定期テストの回数が減る、ということですが、定期テストの回数が減るのに、どのようにテスト範囲を狭くできるのか、私にはわかりませんでした。

雑賀指導主事

そのままでは授業日数が長い分テスト範囲は長くなってしまいますので、単元ごとにテストを行っていくことで、定期テストで行うテスト範囲を減らします。

具体的にいきますと学期の早めに実施した単元につきましてはその都度テストしていったら、定期テストにはその部分を入れないようにし、期末テストの幅を短くしていきます。

星委員

既に実施している市町村ではテスト範囲は広がっていないのですか。

山本委員長

田中委員どうでしょうか。

田中委員

中間テスト、期末テストの名称で行うテスト回数は減りますが、各教科で単元テストを実施しておりますので、範囲は広がらない形で実施しております。

山本委員長

ほかにはありませんでしょうか。

—質問なし—

議題3 近隣市町村の動向について

山本委員長

それでは、次に移ります。3、近隣市町村の動向につきまして事務局よりご説明願います。

北山係長

資料を基に、近隣市町村の動向の説明。

山本教育長

何かご質問ご意見等ございますか。

市川委員

なぜ、近隣市町村だけなのでしょう。また、根本的なことになりましたが、二学期制と三学期制はどのようなルールで決まっているのですか。県の教育委員会で決まっているとか。市町村で決められるのか。つい最近改正になって選べるようになったとか。基本的なところを教えてほしい。茨城県内44市町村での導入状況も教えてほしい。

北山係長

細かい法制度の変化は次回資料でお示ししたいと思います。近隣では牛久市が二学期制を早めに実施しております。それ以外の市町村は比較的最近二学期制を導入しています。新しくなった学習指導要領や新型コロナウイルス感染症防止の観点から、授業時数を増やしたり、行事の見直しを検討したためです。県内44市町村の導入実績に関しても次回会議の時にお示ししたいと思いますと考えております。

山本委員長

補足ですが学期に関しましては、各市町村の教育委員会で決められることになっております。稲敷市教育委員会で二学期制を導入するとなれば、実施できるようになっております。

その他に何かございますでしょうか。

—質問なし—

議題4 今後のスケジュールについて

山本委員長

それでは、次に移ります。4、今後のスケジュールにつきまして事務局よりご説明願います。

北山係長

資料を基に、今後のスケジュールの説明。

山本教育長

何かご質問ご意見等ございますか。

油原委員

先ほど自分と星委員が言ったように、二学期制の資料を先ほどの説明のような形で保護者等の説明会で出してしまうとまったく伝わらない。その辺をどうするのかというところを事務局の方からお返事を頂けないと、私たちはなぜ集まったかわからない。

北山係長

8月の保護者からの意見募集を実施するまでに、先に実施している牛久市等の事例を参考にメリットデメリットを確認し資料精査し保護者からの意見募集の資料としたいと考えております。

板橋委員

先ほど油原委員から説明会を実施したらとのご発言がありましたが、説明会は実施せず、HPと保護者の皆様のメールに配信する予定であります。

油原委員

説明会の件は了解いたしました。今回の委員会での内容を踏まえて、意見募集までに説明資料を直してほしいと考えております。

板橋委員

二学期制の概要につきましては油原委員、星委員ご意見のとおり修正させていただきたいと考えております。それをHPに掲載し意見募集を行います。

市川委員

P T Aの実感は期末P T Aが終わってしまった後だと、教育委員会からのメールだけだと、反応が薄いのではないかと。P T Aとしてできることは口コミでの周知しかできない。そうすると保護者の中には形だけやっているという印象を持たれるのではないかと感じる。メールだけですとあまり集まらないのではないかと。

星委員

学校からの資料配布や意見募集の通知はないのですか。

松田委員

期末のP T Aがすでに終わってしまっているので、あらためて保護者の方に説明する機会はないので、教育委員会で考えていたのはHP上に二学期制の検討を始めましたということに掲載し第一回目の会議を開いた内容を会議資料と会議録を公開する予定でございました。

当初はアンケートも紙ベースも検討しておりましたが、どうしても学校を通してということで負担がかかってしまいます。

そういうことも踏まえて、学校の保護者さんへのメール配信を使わせてもらうこととしました。そこから市のHPを見ていただいて、アンケートについてもURLにアクセスいただき答えていただくという、学校を通さず実施したいと考えていました。

山本委員長

最終日に学校を通してお知らせをしてもいいと考えております。

市川委員

メール配信のみでは、入り口として、周知の面で弱いかなと考えました。現在PTAと保護者との距離が今までと違うので意見が集まらないと感じます。

山本委員長

意見募集を実施しているということを周知したほうがいいということですか

市川委員

ウェブでのアンケートの回収率が現在はどうなっているかわかりませんので、不安を感じております。浸透度合いがわからない。学校ではなにか掴んでいますか。

板橋委員

ウェブでのアンケートの回答率につきましては、昨年度家庭でのWi-Fi環境の調査を実施した時には全体の7割くらいの回収率でした。紙でやったらここまでいかなかったと考えております。

この委員の皆さんは、中学校の会長さんとなっておりますので、小学校のPTAのみなさんにはお伝えすることができず、期末PTAも終わってしまった現在、どのような方法がいいのかを検討したうえで、メール配信によるウェブ回答方式がよいと判断いたしました。アンケートということになってはいますが、みなさまからご意見を募集するような形を考えております。

市川委員

7割回答があったとのことであれば、大丈夫だと思います。期末の文書は多いので、保護者の皆様も、いまはウェブなども得意だと思いますので逆に目につきやすいのかなと思います。

田中委員

7割回答のときは事前通知がありましたよね。

黒田副委員長

ほかのウェブ調査でも9割はかえってきました。

田中委員

PTAの委員さんの心配は、いきなりのメールでは周知が弱いのではないかとのことではないでしょうか。

実際にアンケートが実施されるのは8月なので、その時点では夏休みで子供たちはいませんので事前に通知するほうがいいのではないかと。

山本委員長

学期末に通知をすることで対応していきたいと思います。

市川委員

電子媒体で7割回答があればいきなりでも大丈夫ではないかと思います。終業日に紙1枚だけならば埋もれてしまう気がしますので、無駄な手間をかける必要はないのかなとも考えます。油原委員はどう思いますか。

油原委員

私は紙を配ったほうが良いと思います。事務的に可能でしたらぜひ配布していただきたいと思います。

山本委員長

校長先生のみなさま、配布するのは可能ですよね。

田中委員

誰の名前で出せばいいですかね。

山本委員長

教育委員会名で出したいと思います。

このような形で行っていききたいと思います。

星委員

稲敷市としてはいつごろから二学期制を導入する予定でいるのですか

山本委員長

来年度からを考えております

議題5 質疑・意見交換

山本委員長

その他、ご意見等ございますか。

木村委員

昨年度はコロナ感染症の影響で少なくなった行事も、今年度は通常どおりに戻りつつあります。明日も県総体があり、そんな中で先生方は成績処理を行い通知表を作成しております。コンクール、出張等は平常に戻りつつあります。今、東中学校は生徒指導もなくスムーズに動いている中で教職員はとても忙しいです。現場としては成績処理が減ったり通知表作成が減る二学期制を導入すると、先生方にゆとりが生じ子供たちと向き合う時間が増えるなど生徒へ還元できると思います。

ぜひ、二学期制を皆様にご理解いただき、導入されるといいなと感じました。

山本委員長

貴重なご意見ありがとうございました。

ほかには、ございませんでしょうか。

市川委員

PTA等に周知はいつから行ってよろしいでしょうか。

松田委員

現時点から行っていただいて大丈夫です。

山本委員長

貴重なご意見ありがとうございました。

ほかには、ございませんでしょうか。

それでは、議事進行の座を下ろさせていただきます。

本日は、ご協力ありがとうございました。

吉田課長補佐

それでは、以上を持ちまして第1回稲敷市立学校二学期制導入検討委員会の会議を閉じさせていただきます。

皆様には、平日のお忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。

— 午後8時05分閉会 —